

**第9回 令和2年度  
公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会議案書（書面表決）**

新型コロナウイルス感染拡大による集会等の自粛要請を考慮し、異例ではありますが、定款第20条に基づき書面での定時総会の開催とします。この総会議案書をお読みになりご確認ください。

また、書面表決書を同封致しますので署名・押印と、各議案毎に「賛成・修正・否決」の該当する項目に○を記載する事を必ずお願いいたします。

定時総会へのご意見等がありましたら、各地区協議会や理事までお知らせください。直接、福島県診療放射線技師会HPへメールしていただいても構いません。なお、一般公開講演や各表彰も中止といたします。

結果については、各理事、福島県診療放射線技師会HPや福島放技ニュースにてお知らせいたします。会員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

**議 事**

- 1.報告事項 令和元年度事業報告について
- 2.第1号議案 令和元年度決算報告について
- 3.報告事項 令和元年度監査報告について
- 4.第2号議案 令和2年度事業計画案について
- 5.第3号議案 令和2年度予算案について
- 6.第4号議案 規程追加について
- 7.第5号議案 会員除名

**書面表決書 締め切り期日 令和2年5月28日（木）17時着まで**

## 令和元年度事業報告

### 総括

今年度は元号が平成から令和に替わる節目の年となった。その影響で、GWも10連休との長期休暇となる。昨年に続き豪雨・台風・地震等の自然災害が多かった。特に台風19号の被害は大きく、亡くなられた方には心よりご冥福をお祈り申し上げる。また、被害に遭われた方にもお見舞い申し上げます。県内の会員8名の住宅が被害にあったので、JART災害対策委員会へ報告した。JARTや県技師会では、災害による会費免除の規定があり適用する。また、JARTで義援金からの支給が実現をした。

東日本大震災及び原発事故から9年が経過した。福島県原子力防災住民避難訓練は、年々、規模が縮小される傾向にあり心配していることである。今回も緊急連絡体制の訓練や避難してきた住民やバスのスクリーニングを担当した。管理士部会には、今後は被ばく低減施設の推進や医療被ばく管理等についてもお願いしたい。

令和元年度は役員改選が行われ、合同委員会を経て各活動を継続させた。本会は、事業計画に基づき各種研究会、研修会、各委員会が活動を行っている。各地区の健康まつりやピンクリボン活動等にも積極的に参加し、放射線の正しい知識や検診についての啓発活動を行った。放射線技師が主人公のTVドラマの影響もあり関心が高まっているが、今年は県予算の関係で中学生の医療体験セミナーは開催しない事になった。福島県立医科大学に技師養成を含む新学部が、令和3年4月より開校される。今後も、福島医大準備室とは良い関係を保って行きたいと考える。

11月には、県学術大会を星総合病院ポラリス看護学院メグレズホールで開催を予定していた。台風19号の災害により星総合病院も水害に遭い、急遽会場を太田看護専門学校に変更して開催した。学術委員の多くのご尽力により開催出来た事を、会長として御礼申し上げる。今年度は3社に機器展示を行って頂いた。出席人数会員134名、県外2名、メーカー3名、一般（特別講演）1名、学生1名、非会員1名、合計142名の参加人数であった。今年度から非会員には参加費5,000円を徴収する事にしたが、今後入会すれば払い戻しを行いたい。

また、第9回東北放射線医療技術学術大会が、仙台市で開催された。2年前から新しく学術奨励賞が設けられた。第10回東北放射線医療技術学術大会は、技術学会との共催で令和2年11月14-15日にコラッセふくしまで開催をする。来年度に迫った大会は、実行委員等を選出して技術学会と共催で運営を進めている。

また事務所拡充はWGを立ち上げて、事務所候補地を探し検討している。必要性について福放技ニュースで説明を行っている。幾つかの候補地がありWGで検討を行い、公認会計士からも一定の評価をいただいた。

年度末には、新型コロナウイルスの感染防止のため各地で研究会等の延期や中止が続いた。県理事会の開催も延期して、大事な来年度活動方針や予算案を、電磁的な承認で採決した。

今年度は、統一講習会を県内の要望が強く5回開催した。来年度からは、統一講習会の地方開催は終了し、東京の本部のみで開催となる。

公益社団法人として、初めて県より立ち入り検査を受けた。事務局や会計が適正に業務を行っているので、大きな問題は指摘されなかった。

令和元年度も会員や賛助会員のご支援やご協力で、本会の事業を進める事ができた。これからも公益社団法人としての使命に務めて行くので、変わらないご支援をお願いする。

## 令和元年度事業報告

### 1. 定款に基づく事業

#### (1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業

<講演会・講習会等>

##### 1) 第32回福島県臨床画像研究会（共催）

開催日 令和元年6月8日 開催場所 福島テルサ

参加者名 会員（技師会）名、医師名、賛助会員名 合計 名

内 容 情報提供 バイエル製薬

一般演題

「病院内の全プロテクターの一括点検管理」 大原綜合病院 清水 文彦

「当院における肺動脈回転 DR 撮影の画像評価」

福島県立医科大学附属病院 放射線部 角田 和也

「日本住血吸虫症の2例」 福島県立医科大学 放射線科 柳沼 祐基 先生

技術講演

「一般X線診断装置を用いた胸部 Functional imaging の展望（胸部動態画像解析への新たな試み）」 コニカミノルタ（株）成田 裕亮 氏

特別講演

「大腸がんと大腸 CT の現状」

福島県立医科大学会津医療センター 放射線科 准教授 歌野 健一 先生

##### 2) 医療情報通信技術セミナー（MICS）

###### ①第33回 MICS

開催日 平成31年4月20日（土） 開催場所 星綜合病院ポラリス看護学院

参加者 20数名名（内会員名）

内 容 I 用語セミナー「個人線量管理と関連システム用語」 白河厚生綜合病院 石森 光一

II 技術セミナー「医療被ばく個人線量管理システム」 今出来ることとその問題点

RIS システムを用いて ①（株）ファインデックス 長谷川 諒 氏

②（株）ジェイマックシステムズ 箱崎 卓 氏

RIS 以外のシステムを用いて

①コニカミノルタ・ジャッパン（株） 前田 和之 氏

②富士フィルムメディカル（株） 五十嵐 昭人 氏

III 施設運用報告

「新病院移転に伴う医療情報システムの変化」 思い知ったこと、思い知らされたこと  
大原綜合病院 堀江 常満

IV NEW Topics 「総合診療支援プラットフォーム CITA」

富士フィルムメディカル（株） 小林 陵平 氏

V フリーディスカッション

##### 3) 福島救急撮影カンファレンス

###### 第10回福島救急撮影カンファレンス（FEIC）

開催日 令和元年10月5日（土） 開催場所 福島テルサ

参加者 74名（内会員不明）

内 容 学術情報 富士フィルム富山化学㈱

Topics 「FEIC10回を振り返って～会の発足から今後について～」

FICE 代表世話人 田代 雅実

症例報告 「小児腹痛の一例」 いわき市医療センター 松田 鷹介

「急性大動脈解離の一例」 福島県立医科大学附属病院 菊田 葉生

「肺血栓塞栓症経験して」 竹田綜合病院 真壁 晴香

教育講演 I 「当院での読影補助運用と精度・評価検証」

星綜合病院 続橋 順市

教育講演 II 「救急 CT での見逃したくない危機的所見」

竹田綜合病院 澤田 欣也 先生

特別講演 「被ばく線量調査から考える外傷全身 CT

～最適な撮影方法について、一緒に考えていきませんか？～

神戸赤十字病院 宮安 孝行 先生

#### 4) Fukushima ANgio Technology seminAr

##### ① 5<sup>th</sup> FANTA

開催日 令和元年 5 月 18 日 (土) 開催場所 星総合病院ポラリス看護学院

参加者 87 名 (内会員 82 名)

内容 製品紹介 GE 治療支援アプリケーションのご紹介

GE ヘルスケア・ジャパン (株) 鳥越 章宏 氏

##### Educational session

子宮の解剖&UAE の基本を抑えよう いわき市医療センター 八代 奈慧  
妊婦さんの生理学を学ぼう 太田西ノ内病院 橋谷田 理香  
子宮を CT でみてみよう 宮城県立がんセンター 柚 薫織  
子宮を MRI でみてみよう 竹田総合病院 鈴木 梨沙  
子宮筋腫や産科出血に対する UAE は有用なの?

筑波メディカルセンター 片平 鈴乃

診療放射線技師が教える心電図講座 榊記念病院 飯島 涼香

##### Talk seminar それぞれの視点でトークしよう

Case discussio1 子宮筋腫

Case discussio2 産褥出血

ビギナー診療放射線技師 会津中央病院 長谷川 優

エキスパート診療放射線技師 福島県立医科大学附属病院 永井 千恵

ビギナー看護師 新潟大学医歯学総合病院 佐藤 沙智 氏

エキスパート看護師 福島県立医科大学附属病院 三浦 咲紀 氏

コメンテーター

血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 星総合病院 堤 雅紀

放射線医師 会津中央病院 鳴原 武志 先生

放射線医師 太田西ノ内病院 爲田 忠信 先生

Coffee break seminar 富士製薬のご紹介 女性医療への貢献

富士製薬工業 (株) 鎌田枝里子 氏

##### 特別講演

子宮筋腫に対する UAE 術前検査から読み解く治療戦略

会津中央病院 放射線画像診断科 鳴原 武志 先生

##### ②FAN' s-on seminar

開催日 令和元年 9 月 7 日 (土) 開催場所 竹田総合病院 竹田ホール

参加者 30 名 (内会員 28 名) 【募集定員 30 名】

内容 「頭部 IVR を体験しよう!!」

情報提供 「実際の症例を通して見る脳動脈瘤コイル塞栓術」

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 セレノバス事業部 大西 花英 氏  
(体験セミナー)

- ・脳動脈瘤コイル塞栓体験
- ・ASPECTS をとってみよう
- ・意識レベルの評価をしてみよう

(教育講演)

- ・「脳動脈瘤 CFD 入門」 太田西ノ内病院 大原 亮平
- ・「脳灌流画像の現状から未来への展望」 会津中央病院 小沼 慎一郎

##### ③6th FANTA

開催日 令和元年 11 月 30 日 (土) 開催場所 星総合病院 メグレス ホール

台風 19 号の影響で中止

#### 5) 第 21 回 東北デジタル医用画像研究会 (協賛)

開催日 令和元年 6 月 15 日 (土) 開催場所 いわて県民情報交流センター

参加者 不明 (内会員数名)

内容 製品紹介「ゲルベジャパン (株) の概要とオプチレイの製品紹介」

ゲルベジャパン (株) 高橋 秀剛 氏

第2回 DR 連合フォーラム参加報告 東北支援企画「画像診断報告書の確認不足を防止するためには」	新潟手の外科研究病院 米沢市立病院	風間 清子 加藤 信雄
ビキナー企画 今更聞けない画像工学「超」入門 DR 臨床企画	八戸市民病院	下沢 恵太
臨床に役立つ画像処理 胸部・マンモグラフィ 臨床に役立つ画像処理 整形外科	東北大学病院 中条中央病院	小野寺 崇 関川 高志
専門企画 MRI に使われる再構成から画像処理まで	秋田県立循環器・脳脊髄センター	豊嶋 英仁
CT に使われる再構成から画像処理まで	東北大学	佐藤 和宏

## <分科会・部会活動>

### 6) CT 分科会

#### ①第2回福島県CTテクニカルセミナー

開催日 令和元年6月15日(土) 開催場所 コラッセ福島

参加者 102名(内会員名)

内容 【情報提供】「非イオン性造影剤オプトレイ安全情報」 富士製薬工業

【CTビギナーズセミナー】先輩が教える computed tomography

装置編「CTのノイズ特性について」 太田西ノ内病院 深澤 秀人

臨床編「解剖からCT撮影の基礎 肝臓領域」 竹田総合病院 二瓶 陽子

【シンポジウム】最新の dual Energy 技術

●シーメンスヘルスケア(株) 鈴木 和明 氏

●(株)フィリップス・ジャパン 加藤 亮平 氏

●キヤノンメディカルシステムズ(株) 大西 輝法 氏

●GEヘルスケア。ジャパン(株) 山崎 行弘 氏

【特別講演】「腹部造影CT検査におけるDual Energy CTの臨床活用」

岐阜大学医学部附属病院 放射線部 三好 利治

### 7) MRI 分科会

#### ①第19回MRI技術研究会

開催日 令和元年7月27日(土) 開催場所 福島テルサ

参加者 83名(県外6名・業者5名)

内容

第1部 1. MR安全に関する情報提供

「注意すべき体内金属保有者の検査対応」 山形県立新庄病院 矢部 邦宏

「MRI検査における医療安全のエトセトラ」 国立宮城病院 立石 敏樹

2. ランチミーティング

「MRI検査の安全管理の現状」 討論者 山形県立新庄病院 矢部 邦宏

国立宮城病院 立石 敏樹

第2部 1. 情報提供

「EOB・プリポビストの最新情報」 バイエル薬品(株) 石井 剛志 氏

「福島県立医科大学保健学科 診療放射線科学科 新設に関する情報提供」

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 久保 均 教授

「MRI新機種導入病院の紹介」 大原総合病院 高橋 幸宏

2. シンポジウム

「スクリーニング検査の現状 能動的に変化を加えたルーチンワーク」

「脳」 福島県立医科大学附属病院 樵 勝幸

「脊髄」 北福島医療センター 塩田 将史

「四肢間接」 竹田総合病院 二瓶 秀明

「上腹部」 いわき市医療センター 皆川 和貴

「下腹部」 寿泉堂総合病院 木幡 大志

3. 技術講演「知っておきたいMR検査の豆知識 整形外科領域を中心に」

②県北地域勉強会

開催日 平成31年4月25日 開催場所 福島医大MRI室

参加者数名

内容：脂肪抑制ファントムの作成（不均一な領域を含むファントム）

③第7回県南MRI技術研究会

開催日 令和元年5月31日 開催場所 総合南東北病院

参加者十数名

内容 1. 最新技術紹介「ITEM報告」 GEヘルスケア・ジャッパン（株） 吉野 要 氏

2. 頭部領域のルーチン検査 施設による工夫

寿泉総合病院・白河厚生総合病院・総合南東北病院

3. 基礎を勉強しよう「オーバーサンプリング」 埴厚生病院 吉田 友彦

④県北地域勉強会

開催日 令和元年6月20日 開催場所福島医大MRI室

参加者数名

内容：脂肪抑制ファントム実験の実験デザインの見直しについて

⑤県北地域勉強会

開催日 令和元年7月16日 開催場所福島医大MRI室

参加者数名

内容：磁場均一性について（脂肪抑制を評価するにあたり、まず、磁場の均一性について理解する必要があるため）

⑥第8回県南MRI技術研究会

開催日 令和元年8月30日 開催場所 太田西ノ内病院

参加者38名

内容 1. 最新技術紹介 「ヘリウムフリー新世代MRIのご紹介 Blue Sealマグネット」

（株）フィリップス・ジャパン 森脇 聡 氏

2. 4メーカー最新情報 「EOBプリモビストの最新情報」

バイエル薬品（株） 安達 恭幸 氏

3. 関節領域のルーチン検査 施設による工夫

・膝関節 星総合病院

・肩関節 埴厚生病院

・手関節 太田西ノ内病院

4. 基礎を勉強しよう 「Fast Spine Echo (FSE)、Turbo Spinecho (TSE)について」

総合南東北病院 三瓶 孝

⑦県北地域勉強会

開催日 令和元年9月18日 開催場所福島医大MRI室

参加者数名

内容：ファントムを用いて、装置の持つ均一性について評価

⑧県北地域勉強会

開催日 令和元年11月19日 開催場所福島医大MRI室

参加者数名

内容：前回と同様、装置の持つ均一性について

⑨県北地域勉強会

開催日 令和元年12月23日 開催場所福島医大MRI室

参加者数名

内容：均一性について

⑩県北地域勉強会

開催日 令和2年2月21日 開催場所：福島医大MRI室

参加者数名

内容：脂肪抑制評価ファントムの作成

⑪県北地域勉強会

開催日 令和2年3月6日 開催場所：福島医大MRI室

参加者数名

内容：脂肪抑制評価ファントム作成の続き

## ⑫ 県北地域勉強会

開催日 令和2年3月24日 開催場所：福島医大MRI室

参加者数名

内容：脂肪抑制評価ファントムを用いた脂肪抑制能評価

## 10) 画像技術分科会

### ① 2019年度福島県デジタル画像研究会

開催日 令和元年10月27日 開催場所 福島医大放射線部カンファレンス室

参加者22名(内会員18名)

内容 製品・事例紹介 「未読レポートの未読管理」 PSP(株) 伊藤 和人 氏

「X線防護衣の管理・水晶体防護について」 (株)保科製作所 神田 翔太 氏

情報提供 「被ばく線量管理システム導入の義務化と行政動向」

コニカミノルタジャパン(株) 佐藤 新也 氏

特別講演 「医療被ばく低減施設認定をめざそう」

「医療被ばく低減施設認定取得の流れ」 星総合病院 佐久間 守雄

「医療被ばく低減施設認定取得の経験と更新に三けての取り組み」

竹田総合病院 小柴 祐介

### ② 第27回福島県画像技術研究会

開催日 令和2年1月25日

開催場所 福島テルサ

参加者50名

内容 学術情報

「造影剤リスクマネジメント 造影CTにおける造影剤投与方法と造影剤血管外漏出について」

第一三共株式会社 東北支店

【講演1】影を造る(造影) 「造影剤の歴史と原理+最近のトピックス」

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 造影剤部門 齊藤圭吾

【講演2】影を読む(読影)

「放射線科医としての私が「この技師さんできる!」と感じる画像診断のポイント」

愛仁会高槻病院 イメージングリサーチセンター 部長 高橋 悟 先生

## 11) 乳腺画像分科会

### 第19回福島県乳腺画像研究会

開催日 令和元年9月7日

開催場所 ホテルバーデン

参加者 73名(内会員59名)

内容 学術情報 「オムニパーク注シリンジ 25年のあゆみ」 第一三共株式会社

① 「多機能型X線測定装置 Piranha (ピラニア) で精度管理をやってみよう!」

福島県立医科大学附属病院 濱尾 直美

② 「マンモグラフィのポジショニングと画像評価+施設認定取得のコツ!」

北福島医療センター 平井 和子

特別講演 「乳腺画像と病理の基礎 これだけは知っておきたい必須の知識」

岩手県立中央病院 乳腺・内分泌外科 宇佐美 伸 先生

## 12) 放射線治療分科会

### ① 第42回福島県放射線治療技術研究会

開催日 令和元年6月1日

開催場所 総合南東北病院 がん陽子線治療センター

参加者 30名(会員11名)

内容 メーカー講演 「高周波式ハイパーサーミア療法について」

ハーモナイズ(株) 伊藤 陽介 氏

ミニレクチャー 「オープンソースソフトウェア Plastimatch を使ってみました」

南東北がん陽電子治療センター 加藤 亮平

会員話題提供1 「福島県立医科大学保険科学部(仮称)のご紹介」

福島県立医科大学 加藤 貴弘

会員話題提供2

- ①福島県立医科大学附属病院 三瓶 司
- ②いわき市医療センター 桑村 啓太
- ③大田西ノ内病院 庭山 洋
- ④ 福島県立医科大学附属病院 長澤 陽介

会員話題提供3

- ①南東北がん陽電子治療センター 小森 慎也
- ②福島県立医科大学附属病院 岡 善隆
- ③南東北がん陽電子治療センター 阿部 良知
- ④福島県立医科大学附属病院 宮岡 裕一

## ②第43回福島県放射線治療技術研究会

開催日 令和2年1月11日 開催場所 総合南東北病院 がん陽子線治療センター

参加者名 40 (内会員 20名)

- 内 容 メーカー講演「バリアン陽子線治療装置ProBeamと陽子線治療の将来的な潮流」  
 (株)バリアンメディカルシステムズ 吉澤 祐介 氏
- 技術講演Ⅰ「最新の高精度リニアックを立ち上げる！-周辺機器編-」  
 東洋メディック(株) 中口 裕二 氏
- ミニレクxチャー「HyperArcの現状と新しいイノベーションへの期待」  
 太田西ノ内病院 庭山 洋

技術講演Ⅱ

「放射線部門におけるコンピューター支援設計 (CAD) および3Dプリンティング」

福島県立医科大学 福田 篤志 先生

## 1 3) 福島県放射線管理士部会

開催日 令和元年8月24日 開催場所 星総合病院附属ポラリス保健看護学院

参加者 24名 (内会員 21名)

内容 第1部：原子力災害関連

避難退域時検査場における原子力災害緊急対応ユニットの紹介

福島県立医科大学 大葉 隆

原子力災害医療協力機関として果たすべき役割 田村市立都路診療所 菅野 修一

社会人大学院生体験記 災害・被ばく医療科学共同専攻で学んで

公立岩瀬病院 真船 浩一

第2部：医療被ばく低減施設認定をみんなで取得しよう (第2弾)

当院での受審報告 訪問審査・振り返りを中心に 星総合病院 佐久間 守雄

医療被ばく低減施設認定への取り組み (マンモ) 竹田総合病院 小林 瞳

特別講演「求められる医療被ばくの説明責任」 医療法施行規則の改正を受けて

(公社)日本診療放射線技師会 元専門職 諸澄 邦彦 氏

## 1 4) 各地区協議会研究会等

### ①2019年度 会津地区乳房研究会

開催日 令和元年5月21日

開催場所 竹田総合病院 総合医療センター画像診断センター

参加者 参加者 20名 (内会員 17名)

内容 ・2019年度会津若松市乳がん検診について

・マンモ領域のピラニア使用方法

### ②第99回 会津画像研究会

開催日 令和元年7月25日

開催場所 会津医療センター

参加者 18名 (内会員 18名)

内容 1. 「HCV患者に対するDAA治療前後のEOB-MRIの役割」

バイエル薬品(株) ラジオロジー事業部 安達 恭幸 氏

2. 「CT: Deep Learningの画像処理への応用」

キヤノンメディカルシステムズ(株) 営業推進部CT担当 大西 輝法 氏

### ③県南地区協議会サマーセミナー

開催日 令和元年7月27日 開催場所 ビックアイ (郡山市)

参加者 27名 (内会員 16名、賛助会員 11名)

内容 最新技術提供



「GE Healthcare 最新技術紹介 AI を活用した新たなイメージング」

GE ヘルスケア・ジャパン (株) 山崎 幸弘 氏

「Canon AI Up to date CT・MRI への搭載」

キヤノンメディカルシステム (株) 大西 輝法  
淀 健治

教育講演 「認定資格 取得にむけて」

1. 「検診マンモグラフィ撮影認定技師」「MR 専門技術者」

総合南東北病院 國分 美加

2. 「胃がん検診認定技師」「胃がん X 線検診技術部門 B 認定」

南東北福島病院 佐藤 嘉洋

3. 「IVR 専門技師」「X 線 CT 専門技師」

太田西ノ内病院 大原 亮平

#### ④ 県北地区協議会夏季勉強会

開催日 令和元年 8 月 31 日 開催場所 杉妻会館

参加者 34 名 (内会員 29 名)

内容 1. 「低被ばくなのに高画質! ~最新 X 線透視装置~」

(株)日立製作所 画像診断営業部 上野 完 氏

2. 「救急一般撮影、所見をみてポジショニングの重要性を知ろう」

山鹿クリニック 工藤 靖之

#### ⑤ 浜通り地区協議会夏季研修会

開催日 令和元年 8 月 31 日 開催場所 かんぼの宿いわき

参加者 39 名 (内会員 38 名)

内容 1) 学術研修会「診療用放射線に係る安全管理体制について」

富士フィルムメディカル (株) 岩田 貴 氏

2) 浜通り地区学術研究発表会

① SHIMADZU Rad Speed Pro における長尺撮影の使用経験

いわき市医療センター 齋藤 有貴

② FPD を用いた全脊柱撮影の撮影条件の検討 被ばく低減に向けて

いわき市医療センター 鈴木 麻美

③ 当院の PET-CT 心臓サルコイドーシズ検査について

ときわ会常磐病院 柳澤 宏樹

④ 当院における医用画像参照用モニタ管理に対する取り組み

公立相馬総合病院 鈴木 敬一

⑤ CTC の導入と検討

かしま病院 西山 修平

#### ⑥ 令和元年度 会津地区協議会交歓会

開催日 令和元年 10 月 11 日 開催場所 山鹿クリニック

参加者 16 名 (会員数 16 名)

内容 開会挨拶 診療放射線技師会について 会津地区協議会委員長 鈴木 雅博

教育セミナー 1. 「医療現場における医療安全推進のための取組み」

竹田総合病院 医療安全管理室 須田 喜代美 氏

2. 「FPD の基本原理と臨床応用」

コニカミノルタジャパン(株) 佐藤 新也 氏

#### ⑦ 第 100 回会津画像研究会

開催日 令和元年 11 月 16 日 開催場所 竹田総合病院

参加者 29 名 (会員数 29 名)

内容 1. 情報提供「オムネパークシリンジ製剤の適正使用について」

第一三共(株)

2. 教育講演「研究してみよう！」

福島県立医科大学 新学部準備室 久保 均 教授

3. 「Ai から AI へ -造影剤豆知識を含めて-」

福島県技師会 会長 新里 昌一

### ⑧第 33 回いわき地区画像研究会勉強会

開催日 令和1年12月3日 開催場所 グランパークホテル パネックス いわき  
参加者 42名 (内会員 31名)  
内容 情報提供「オムニパークシリンジ製剤の適正使用について」

第一三共株式会社

「読影の補助 近未来予想図～IVR 認定技師が支援した造影 CT 再構築画像を含め～」  
昭和大学大学院保健医療学研究科 加藤 京一教授

### ⑨第 34 回いわき地区画像研究会勉強会

開催日 令和2年1月24日 開催場所 常磐病院 PETセンター  
参加者 22名 (内会員 18名)  
内容 「FDG-PET 検査の基本と検査法」

福島県立医科大学 新医療系学部設置準備室 教授 久保 均

### ⑩県南地区新年勉強会

開催日 令和2年1月25日 開催場所 ビックアイ (郡山市)  
参加者 52名 (内会員 42名、賛助会員 10名)  
内容 講演 I 「台風 19 号による被災と対策」

1. DMAT 活動報告 太田西ノ内病院 孔 秀和
2. 台風 19 号による当院の被害状況について 星総合病院 横山 詩織

講演 II 「医療放射線管理・線量記録義務化」

1. 医療放射線の安全管理 太田西ノ内病院 新里 昌一
2. 医療被ばく線量管理・線量記録 (株)PSP 宇野 康隆 氏
3. CT 検査における線量測定・推定法

福島県立医科大学新学部準備室 福田 篤志 先生

### ⑪相双地画像勉強会

開催日 令和2年1月30日 開催場所 ウエディングパーク原町フローラ  
参加者 22名 (内会員 21名)  
内容 「画像診断に人工知能 : ディープラーニング入門」

福島県立医科大学 新医療系学部設置準備室・先端臨床研究センター

高橋 規之教授

### ⑫令和元年度県北地区協議会新年勉強会

開催日 令和2年2月1日 開催場所 大原総合病院 第一会議室  
参加者 53名 (内会員 49名)  
内容 テーマ 1 : 「こんなとき、なんて言う？ (放射線技師の英会話)」

JCOH 二本松病院 高橋弘美 儀藤百合子

テーマ 2 : 「GE CT 最新トピックスのご紹介」

GE ヘルスケアジャパン株式会社 CT 営業推進部 山崎幸弘 氏

テーマ 3 : 「放射線線量管理の動向と被ばく線量管理システムについて」

EIZO 株式会社 加島 陽 氏

### ⑬第 101 回会津画像研究会

開催日 令和2年18日 開催場所 会津中央病院イーストセンター5階  
参加者 24名 (内会員 24名)

内容 演 題 1. 「線量管理システム Radimetrics 製品紹介」

バイエル(株) 安達 恭幸 氏

2. 「当院における線量管理の運用」

竹田総合病院 小柴 祐介

### ⑭第 35 回いわき地区画像研究会勉強会

開催日 令和2年3月6日 開催場所 グランパークホテル パネックス いわき  
新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止

## (2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業

### 1) 一般公開講演会 (主催)

#### ①定時総会時の一般公開講演

開催日 令和元年5月25日 開催場所 かんぽの宿いわき  
参加者名 (内会員名)  
内容 「いわきFC 地域とともに歩む未来へ」(株)いわきスポーツクラブ

## ②学術大会前の一般公開講演

開催日 令和元年11月10日 開催場所 太田看護専門学校講堂  
参加者名 142名  
(内会員134名、非会員1名、学生1名、賛助会員3名 一般1名、県外2名)  
内容「医療放射線被ばく管理、記録が義務づけに！  
-あのあと医療放射線はどう変わったのか-」

川崎医療福祉大学 医療技術学部 竹井 泰孝 先生

## 2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 福島に広告掲載

開催日 令和元年8月11-12日 開催場所 あづま総合体育館

## 3) 健康フェスタ 2019 (福島市)

開催日 令和元年9月8日 開催場所 MAX 福島  
参加者 役員6名 ブース参加市民 約200名

## 4) ファミリーフェスタ郡山 2019

開催日 令和元年9月29日 開催場所 ビックパレット福島  
参加者 会員4名

## 5) 第35回会津若松市健康まつり

開催日 令和元年9月29日 開催場所 会津若松市 文化センター  
参加者 会員8名

## 6) 乳がん啓発キャンペーン「ピンクリボン in 郡山 2019」

開催日 令和元年10月17日 開催場所 星総合病院・メグレズホール  
台風19号の影響で中止

## 7) メディカルクルエーションふくしま 2019 (共催)

開催日 令和元年11月27-28日 開催場所 ビックパレットふくしま

## (3) 診療放射線による検査向上および職業倫理の高揚に関する事業

### 1) フレッシュアップセミナーの開催 (日放技からの業務委託)

開催日 令和元年6月23日 開催場所 太田西ノ内病院  
参加者 20名  
内容 新人診療放射線技師を対象にして、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、  
エチケット・マナー及び、診療放射線技師として知っておくべき基礎知識の講習を行った。

### 2) 第9回東北放射線医療技術学術大会 (共催)

開催日 平成30年10月26-27日 開催場所 宮城県仙台市  
テーマ 「Beyond all Radiversity」 ~マルチモダリティの聲~

### 3) 令和元年度福島県放射線技師学術大会の開催 (主催)

開催日 令和元年11月10日 開催場所 星総合病院ポラリス看護学院メグレズホール  
参加者名 参加者名 142名  
(内会員134名、非会員1名、学生1名、賛助会員3名 一般1名、県外2名)  
内容 一般演題 24題、機器展示3社  
一般公開講演「医療放射線被ばく管理、記録が義務づけに！  
-あのあと医療放射線はどう変わったのか-」

川崎医療福祉大学 医療技術学部 竹井 泰孝 先生

ランチョンセミナー「えっマジで？レトロモダンな造影技術がもららすシナジー」

埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 中根 淳 先生

### 4) 技師法改正に伴う統一講習会 (日放技からの委託事業)

県北地区 開催日 令和元年8月3-4日 開催場所 福島県立医科大学附属病院 参加者 22名

会津地区 開催日 令和元年9月15-16日 開催場所 竹田総合病院 参加者 14名

県南地区 開催日 令和元年11月30-12月1日 開催場所 南東北がん陽子線センター  
参加者 37名

県北地区 開催日 令和2年1月25-26日 開催場所 福島県立医科大学附属病院 参加者 46名

浜通地区 開催日 令和2年2月8-9日 開催場所 いわき市医療センター 参加者 37名

## 5) 第4回 東北地区合同勉強会（共催）

開催日 令和元年8月10日 開催場所 仙台市シルバーセンター交流ホール  
参加者 会員名（代表者）  
内容 0から学ぼう！乳腺 Part4

### (4) 診療放射線技術を通じて地域医療の推進に関する事業

#### 1) X線アナライザー「ピラニア」とサーベイメーターの貸し出しと精度管理

事業内容 各地区ローテーションに加え随時貸し出し

#### 2) 令和元年度福島県原子力防災住民避難訓練の会議等

##### ①令和元年度危機管理対策連絡会及びみちのくALERT第1回調整会議

開催日 令和元年6月18日 開催場所 陸上自衛隊 仙台駐屯地  
参加者 会員1名

##### ②令和元年度福島県原子力防災訓練に係る第1回関係機関会議

開催日 令和元年6月26日 開催場所 福島県危機管理センター（県庁北庁舎）  
参加者 会員1名

##### ③令和元年度実務人材研修（避難退域時検査等）に係る試行研修（資機材展開実習）

開催日 平成元年8月9日 開催場所 島根県安来市 中海ふれあい公園  
参加者 1名

##### ④令和元年度福島県原子力防災訓練に係る第2回関係機関会議

開催日 令和元年8月27日 開催場所 福島県危機管理センター（県庁北庁舎）  
参加者 会員2名

##### ⑤令和元年度福島県原子力防災訓練に係る第3回関係機関会議

開催日 令和元年10月3日 開催場所 福島県危機管理センター（県庁北庁舎）  
参加者 会員1名

##### ⑥令和元年度福島県原子力防災訓練の中止

開催日 令和元年11月16日 開催場所 田村市総合体育館  
内容 福島県原子力防災訓練での避難住民へのスクリーニング、大型バス測定等  
台風19号の災害復旧を第一優先するため訓練は中止となった。

#### 3) 原子力安全協会 避難解除地域帰還者WBC想定結果説明要員の派遣

##### ①田村市「WBCによる内部被ばく線量測定」

開催日 令和元年6月15日 開催場所 田村市都路町 地見城多目的集会施設  
参加者 会員1名

##### ②田村市「WBCによる内部被ばく線量測定」

開催日 令和元年10月5日 開催場所 田村市都路町 地見城多目的集会施設  
参加者 会員1名

### (5) その他の目的を達成するために必要な事業

#### 1) 第8回（2019年度）公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会

開催日 令和元年5月25日（土）  
開催場所 かんぼの宿いわき  
内容 会員総数664名中、出席者55名と委任状433名で計488名の出席で開催され、  
提案された議案は全て原案通り可決された。

#### 2) 理事会の開催

令和元年5月25日	令和元年度第1回理事会	（かんぼの宿いわき）
令和元年5月25日	令和元年度第2回理事会	（かんぼの宿いわき）
令和元年6月20日	令和元年度第3回理事会	（太田西ノ内病院）
令和元年9月20日	令和元年度第4回理事会	（太田西ノ内病院）
令和元年12月6日	令和元年度第5回理事会	（太田西ノ内病院）
令和2年3月6-20日	令和元年度第6回理事会	（電磁的開催及び承認）

#### 3) 各地区協議会会議の開催

##### ①全体会（総会）

平成31年4月21日	会津地区（神楽想）	出席者24名、委任状54名
平成31年4月20日	浜通り地区（南相馬市立総合病院）	出席者名19名、委任状144名

平成 31 年 4 月 24 日	県南地区 (ビックアイ)	出席者 25 名、委任状 149 名
平成 31 年 4 月 26 日	県北地区 (福島県立医科大学附属病院)	出席者 24 名、委任状 121 名
<b>②地区協議会委員会</b>		
平成 31 年 4 月 20 日	第 1 回浜通り地区協議会委員会	(南相馬市立総合病院)
平成 31 年 4 月 26 日	第 1 回県北地区協議会委員会	(福島県立医科大学附属病院)
令和元年 6 月 6 日	第 2 回県北地区協議会委員会	(福島県立医科大学附属病院)
令和元年 6 月 21 日	第 1 回県南地区協議会委員会	(星総合病院)
令和元年 6 月 26 日	第 2 回浜通り地区協議会委員会	(南相馬市立総合病院)
令和元年 7 月 18 日	第 1 回会津地区協議会委員会	(竹田総合病院 総合医療センター)
令和元年 8 月 31 日	第 3 回浜通り地区協議会委員会	(かんぼの宿いわき)
令和元年 10 月 24 日	第 3 回県北地区協議会委員会	(福島県立医科大学附属病院)
令和元年 11 月 19 日	第 2 回県南地区協議会委員会	(南東北がん陽子線治療センター)
令和 2 年 2 月 26 日	第 4 回浜通り地区協議会委員会	(南相馬市立総合病院)
令和 2 年 2 月 26 日	第 3 回県南地区協議会委員会	(太田西ノ内病院)

#### 4) その他

##### ①県原子力防災通信訓練

第 1 回通信訓練 開催日 令和元年 5 月 29 日

第 2 回通信訓練 開催日 令和元年 9 月 4 日

##### 5) 委員会の活動

##### ①総務企画委員会

電磁的な委員会開催 令和 2 年年度事業計画案・予算案の審議等

##### ②表彰委員会

令和元年度 (公社) 日本診療放射線技師会 永年勤続 (30 年) 表彰者推薦

令和元年度 (公社) 福島県診療放射線技師会 永年勤続 (20 年) 表彰の審議・決定

(公社) 福島県診療放射線技師会功労表彰者の決定

##### ③学術委員会

日時 令和元年 10 月 25 日 開催場所 太田看護専門学校 講堂

学術大会会場下見

日時 令和元年 11 月 9 日 開催場所 太田看護専門学校 講堂

学術大会会場準備

##### ④ネットワーク委員会

福島県診療放射線技師会ホームページの更新作業 (各研究会案内・求人依頼等)

各委員会及び各地区協議会メーリングリストの運営管理

メールマガジンの発行

各委員会・各地区協議会の共有ファイルシステムの構築

##### ⑤精度管理委員会

Piranha の 2 台体制での貸し出し開始 (4 月 1 日～)

##### ① Piranha Puremium ②Piranha657

地区ローテーションと貸し出し期間及び 2 機種のパフォーマンスの違いを HP に掲載

その他の測定器 (電離箱、GM、シンチレーションサーベイメーターの貸し出し)

##### ⑥編集広報委員会

会報の発行 第 56 号

福放技ニュースの発行 170-176 号

10 周年記念誌の作成継続

##### ⑦生涯教育委員会

フレッシュャーズセミナーの開催

技師法改正に伴う統一講習会の開催 (5 回)

東北各県での統一講習会への講師派遣

県内各研究会での参加者チェックと日放技への申請等

##### ⑧災害対策委員会

福島県原子力防災訓練等に係る関係機関会議出席

原子力災害関連の各種研修会への会員派遣

## ⑨財務委員会

内部監査や中間監査、会計監査等

## ⑩調査委員会

調査委内容の検討

県学術大会での調査報告の発表

## 6) 部会報告

### 放射線管理士部会

令和元年度福島県原子力防災住民避難訓練への準備・参加

避難指示解除地域の線量把握事業への協力

放射線利用に関する啓発活動

福島県原子力災害対策協議会への出席

## 7) ニュース・会報の発行

### ①令和元年度 福島県診療放射線技師会ニュース発行

170号 令和元年 5月30日発行 巻頭言 平井副会長

171号 令和元年 7月26日発行 巻頭言 新里会長

172号 令和元年 9月27日発行 巻頭言 鈴木副会長

173号 令和元年 11月29日発行 巻頭言 阿部会長

174号 令和2年 1月日発行 巻頭言 大和田副会長

175号 令和2年 3月29日発行 巻頭言 新里会長

### ②会報発行

令和2年3月31日 第56号

## 8) 会員に対する表彰 (敬称略)

### ①(公社)福島県診療放射線技師会 永年勤続(20年)表彰

県北地区 佐藤喜栄(あづま脳神経外科病院)  
斎藤久美(北福島医療センター)  
松井大樹(北福島医療センター)  
岡 善隆(福島県立医科大学附属病院)  
田代雅実(福島県立医科大学附属病院 新医療系学部)  
福田篤志(福島県立医科大学附属病院 新医療系学部)

県南地区 三瓶 孝(脳神経疾患研究所附属総合南東北病院)  
石森浩一(白河厚生総合病院)  
田代淳子(太田総合病院附属太田熱海病院)  
柳沼孝寿(太田総合病院附属太田西ノ内病院)  
塚田陽子(今泉西病院)  
笹川克博(太田総合病院附属太田西ノ内病院)  
国分信行(須賀川病院)  
大原亮平(太田総合病院附属太田西ノ内病院)  
水野由美(安積保養園附属あさかホスピタル)

会津地区 長谷川和己(県立医大付属会津医療センター)

浜通り地区 藤田 秀明(福島労災病院)  
安藤 茂樹(常磐病院)

### ②(公社)日本診療放射線技師会 永年勤続(30年)表彰

県北地区 渡辺 進(わたり病院)  
服部正人(二本松病院)  
菅野 徹(福島赤十字病院)  
阿部郁明(福島県立医科大学附属病院)  
清野真也(福島県立医科大学附属病院)

県南地区 久保 均(福島県立医科大学附属病院 新医療系学部)  
緑川善雄(寿泉堂総合病院)  
車田清春(公立岩瀬病院)

浜通り地区 折笠秀樹(いわき市医療センター)

名城 敦 (いわき市医療センター)

八巻功一 (いわき健康管理センター)

③ (公社) 日本診療放射線技師会 永年勤続 (50年) 表彰

県北地区 片倉俊彦 (個人)

県南地区 音高正明 (個人)

④ 令和元年度学術奨励賞

セッション I 「血管撮影・放射線管理・機器管理」真船 浩一 (公立岩瀬病院)

セッション II 「核医学・X線検査・消化管検査」秋山 俊一 (総合南東北病院)

セッション III 「MRI 検査・放射線治療」桑村 啓太 (いわき市医療センター)

セッション IV 「X線 CT 検査」橋谷田 理香 (太田西ノ内病院)

## 2. 庶務報告

会員動向 (令和2年3月31日現在)

正会員数	平成31年度当初	659名
	令和元年度末	683名
	入会者数	39名 (転入などを含む)
	名誉会員数	12名
退会者数		17名 (転出などを含む)
賛助会員		24社

第1号議案 平成31年度 決算報告  
貸借対照表

公益社団法人福島県診療放射線技師会  
全事業所

[税込] (単位:円)  
令和2年3月31日 現在

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,563,701	1,773,490	1,790,211
未収金	380,000	552,000	△ 172,000
前払費用	15,912	23,868	△ 7,956
流動資産合計	3,959,613	2,349,358	1,610,255
2. 固定資産			
特定資産			
(特定費用準備資金積立特定資産)	20,600,000	19,600,000	1,000,000
(減価償却特定資産)	6,538,815	6,166,140	372,675
特定資産合計	27,138,815	25,766,140	1,372,675
その他固定資産			
什器備品	1,862,759	2,335,394	△ 472,635
電話加入権	40,000	40,000	-
長期前払費用	-	15,912	△ 15,912
その他固定資産合計	1,902,759	2,391,306	△ 488,547
固定資産合計	29,041,574	28,157,446	884,128
資産合計	33,001,187	30,506,804	2,494,383
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	-	-	-
2. 固定負債			
固定負債合計	-	-	-
負債合計	-	-	-
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	32,901,187	30,406,804	2,494,383
(うち基本財産への充当額)	-	-	-
(うち特定資産への充当額)	(27,138,815)	(25,766,140)	1,372,675
2. 指定正味財産	100,000	100,000	-
(うち基本財産への充当額)	-	-	-
(うち特定資産への充当額)	-	-	-
正味財産合計	33,001,187	30,506,804	2,494,383
負債及び正味財産合計	33,001,187	30,506,804	2,494,383



# 正味財産増減計算書

[税込] (単位：円)

	当年度	前年度	増減
公益社団法人福島県診療放射線技師会	自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	自平成30年4月1日 至平成31年3月31日	
<b>I 一般正味財産の部</b>			
<b>【経常収益】</b>			
<b>【特定資産運用収入】</b>			
特定資産運用利益	2,573	2,920	△ 347
<b>【受取会費】</b>			
正会員受取会費	6,580,000	6,380,000	200,000
賛助会員受取会費	720,000	720,000	-
<b>【事業収益】</b>			
出版広報事業広告収益	110,000	140,000	△ 30,000
学術研修事業広告収益	580,000	570,000	10,000
学術研修事業受講料収益	38,000	59,000	△ 21,000
日放技業務受託料収益	135,200	139,680	△ 4,480
福島県業務受託料収益	82,000	82,000	-
<b>【その他収益】</b>			
受取 利息	36	23	13
経常収益 計	8,247,809	8,093,623	154,186
<b>【経常費用】</b>			
<b>【事業費】</b>			
厚生費	10,378	8,872	1,506
支払手数料	10,552	-	10,552
旅費交通費	244,170	260,040	△ 15,870
通信運搬費	615,942	350,029	265,913
減価償却費	351,770	720,725	△ 368,955
消耗品 費	68,662	71,395	△ 2,733
修繕費	159,280	-	159,280
保険料	20,610	22,910	△ 2,300
会議費	185,687	229,111	△ 43,424
諸謝金	298,459	242,959	55,500
印刷製本費	1,144,990	1,173,312	△ 28,322
広報費	190,524	394,871	204,347
支払負担金	10,000	10,000	-
支払助成金	60,000	60,000	-
事業費 計	3,371,024	3,544,224	△ 173,200
<b>【管理費】</b>			
委託報酬手数料	457,292	402,168	55,124
会議費	295,961	254,501	41,460
旅費交通費	851,140	626,060	225,080
減価償却費	120,864	152,186	△ 31,322
通信運搬費	128,577	124,637	3,940
消耗品 費	146,573	118,523	28,050

賃借料	96,000	96,000	-
諸会費	105,200	97,000	8,200
支払手数料	29,984	35,812	△ 5,828
租税公課	400	-	400
保険料	50,410	50,410	-
管理費計	2,282,401	1,957,297	325,104
経常費用計	5,653,425	5,501,521	151,904
当期経常増減額	2,594,384	2,592,102	2,282
基本財産評価損益等	-	-	-
特定資産評価損益等	-	-	-
投資有価証券評価損益等	-	-	-
2. 経常外増減の部			
【経常外収益】	181,418	-	181,418
受取義援金	181,418	-	181,418
【経常外費用】	281,419	30,000	251,419
貸倒損失	100,000	30,000	70,000
固定資産除却損	1	-	1
支払義援金	181,418	-	181,418
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	2,494,383	2,562,102	△ 67,719
一般正味財産期首残高	30,406,804	27,844,702	2,562,102
一般正味財産期末残高	32,901,187	30,406,804	2,494,383
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	100,000	100,000	0
指定正味財産期末残高	100,000	100,000	0
III 正味財産期末残高	33,001,187	30,506,804	2,494,383

# 正味財産増減計算書内訳表

[税込] (単位: 円)

公益社団法人福島県診療放射線技師会

自 平成31年 4月 1日  
至 令和 2年 3月 31日

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1・経常増減の部			
【経常収益】			
【特定資産運用収入】			
特定資産運用利益	2,573		2,573
【受取会費】			
正会員受取会費	3,290,000	3,290,000	6,580,000
賛助会員受取会費	360,000	360,000	720,000
【事業収益】			
会報広告料	110,000		110,000
学術大会広告掲載料	580,000		580,000
生活習慣病検診従事者指導講習会受講料	38,000		38,000
日放技事務業務受託料	135,200		135,200
生活習慣病検診従事者講習会受託料	82,000		82,000
【その他収益】			
受取 利息		36	36
経常収益 計	4,597,773	3,650,036	8,247,809
【経常費用】			
【事業費】			
厚生費	10,378		10,378
支払手数料	10,552		10,552
旅費交通費	244,170		244,170
通信運搬費	615,942		615,942
減価償却費	351,770		351,770
消耗品 費	68,662		68,662
修繕費	159,280		159,280
保険料	20,610		20,610
会議費	185,687		185,687
諸謝金	298,459		298,459
印刷製本費	1,144,990		△ 1,144,990
広報費	190,524		190,524
支払負担金	10,000		10,000
支払助成金	60,000		60,000
事業費 計	3,371,024		3,371,024
【管理費】			
委託報酬手数料		457,292	457,292
会議費		295,961	295,961
旅費交通費		851,140	851,140
減価償却費		120,864	120,864
通信運搬費		128,577	128,577
消耗品 費		146,573	146,573

租税 公課		400	400
賃借料		96,000	96,000
諸会費		105,200	105,200
保険料		50,410	50,410
支払手数料		29,984	29,984
管理費 計		2,282,401	2,282,401
経常費用 計	3,371,024	2,282,401	5,653,425
当期経常増減額	1,226,749	1,367,635	2,594,384
2・経常外増減の部			
【経常外収益】			
受取義援金		181,418	181,418
【経常外費用】			
貸倒損失		100,000	100,000
固定資産除却損		1	1
支払義援金		181,418	181,418
他会計振替額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	1,226,749	1,267,634	2,494,383
一般正味財産期首残高			30,406,804
一般正味財産期末残高			32,901,187
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	100,000	-	100,000
指定正味財産期末残高	100,000	-	100,000
正味財産期末残高			33,001,187

\*受取会費は公益目的事業会計(共通)に50%、法人会計に50%の割合で按分している

# 財務諸表の注記

公益社団法人福島県診療放射線技師会

令和2年3月31日 現在

## 【継続企業の前提に関する注記】

該当事項なし

## 【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、「公益法人会計基準」

(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)によっています。

### (1). 有価証券の評価基準及び評価方

該当事項なし

### (2). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当事項なし

### (3). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法によっています。

### (4). 引当金の計上基準

該当事項なし

### (5). 消費税等の会計処理

免税事業者であるため、消費税等の会計処理は税込方式によっています。

## 【基本財産及び特定資産の増減額及びその残高】

[税込] (単位：円)

内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
特定費用準備資金積立特定資産	19,600,000	1,000,000	0	20,600,000
減価償却特定資産	6,166,140	372,675	0	6,538,815
合計	25,766,140	1,372,675	0	27,138,815

## 【基本財産及び特定資産の財源等の内訳】

[税込] (単位：円)

内容	当期末残高	うち指定正味財産からの 充当額	うち一般正味財産からの 充当額	うち負債に対応する額
特定資産				
特定費用準備資金積立特定資産	20,600,000	0	20,600,000	-
減価償却特定資産	6,538,815	0	6,538,815	-
合計	27,138,815	0	27,138,815	-

## 【担保に供している資産】

該当事項なし

【固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高】

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器・備品	8,401,574	6,538,815	1,862,759
事業所拡充積立資産	20,600,000		20,600,000
減価償却特定資産	6,538,815		6,538,815
合計	35,540,389	6,538,815	29,001,574

【保証債務等の偶発債務】

該当事項なし

【指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳】

該当事項なし

【関連当事者との取引の内容】

該当事項なし

【重要な後発事象】

該当事項なし

## 付属明細書

公益社団法人福島県診療放射線技師会

令和2年3月31日 現在

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器・備品	8,501,534	-	99,960	8,401,574	6,538,815	1,862,759
特定費用準備資金積立 特定資産	19,600,000	1,000,000	-	20,600,000	-	20,600,000
減価償却特定資産	6,166,140	372,675	-	6,538,815	-	6,538,815
合計	34,267,674	1,372,675	99,960	35,540,389	6,538,815	29,001,574

【借入金の増減内訳】

該当事項なし

【引当金の増減内訳】

該当事項なし

# 財 産 目 録

公益社団法人福島県診療放射線技師会  
全事業所

[税込] (単位:円)  
令和2年3月31日 現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産	現金預金	手元保管	運転資金として	51,801
		普通預金	運転資金として	3,383,849
		東邦銀行 福島医大病院支店 貯金口座	運転資金として	124,807
		ゆうちょ銀行 仙台貯金事務 センター	運転資金として	3,244
	振替口座	運転資金として	3,244	
	未収金	正会員未収会費 31名分	事業費及び法人運営	380,000
	前払費用	サーバ使用料令和2年4月か ら11月分	事業費及び法人運営	15,912
流動資産合計				3,959,613
固定資産				
特定資産	特定費用準備資金 引当特定資産	定期預金	特定費用準備のため の特定資産	20,600,000
	減価償却特定資産	定期預金	減価償却資産の取替え 更新のための積立資産	6,538,815
その他固定資産	什器・備品	法人本部	法人運営のため	1,862,759
	電話加入権	法人本部	法人運営のため	40,000
固定資産合計				29,041,574
資産合計				33,001,187
負債合計				-
正味財産				33,001,187

令和元年度 監査報告

監査報告

公益社団法人 福島県診療放射線技師会  
代表理事 会長 新里昌一 様

私ども監事は、公益社団法人福島県診療放射線技師会定款第26条および第45条に基づき、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務執行、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について監査いたしました。その結果について下記の通り報告いたします。

記

1. 事業報告等の監査結果

事業は、事業計画に従い適正に施行されているものと認めます。

2. 貸借対照表、正味財産増減計算書等の監査結果

貸借対照表、正味財産増減計算書およびその付属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況について適正かつ正確に示していることを認めます。

以上

令和2年4月24日

監 事

印

監 事 高橋宏和 

\* 齋藤監事は病気入院中のため今回の監査報告は外部監事の  
高橋宏和氏のための監査となりました

以上



## 令和2年度事業計画（案）

### 総括

昨年度は、台風19号の被害、新型コロナウイルスと技師会活動にも大きな影響を及ぼした。台風での自宅水害については、JARTから義援金が配布させた。JART及び県会員には会費免除の対応を行った。

2019年末より新型コロナウイルス（COVIT19）が猛威を振るい、全世界的に脅威になっている。人の集まりや外出が制限され、研究会や学会が延期または中止となる事態が進んだ。県技師会の活動にも影響があり、昨年度第6回理事会を電磁的承認、今年度の定時総会も紙面上承認となるなど異例の対応に迫られた。未曾有の状況の中、会員の皆さんは医療人として感染防止に更に務めていただきたい。終息をすれば、例年通りの通常の活動を再開するつもりである。なお有事も想定してWeb（ZOOM等）での会議の導入も検討して行く。

令和2年度は、昨年からの継続での運用で活動を進めて行く。県技師会の各事業は、常設委員会、専門分科会や部会、地区協議会が企画立案して進めて行くが、主だった行事は年間行事予定表に示した。この他にも多くの研究会や講習会があり、技師会のホームページを通じて情報発信する。ぜひ活用して、各事業や各種勉強会等への積極的な参加をお願いする。

なお、令和元年度で、技師法改正に伴う業務拡大のため統一講習会の地方開催は止め、本部での講習会が継続される。今年から上記カリキュラムを受けた学生が技師として就職する。今後は、静脈穿刺や動脈動注等の法令改正も議論があり、新たな統一講習会の開催の可能性もある。

令和3年4月には福島県立医科大学に放射線技師養成学部が設立される。技師会としても動向に関心を持ち、今後も協力や応援して行く事を継続して行く。

今年度は第10回東北放射線医療技術学術大会を福島市で開催する。技術学会と共に運営を進めているので是非参加や演題募集をお願いする。なお、県学術大会は演題募集せず、講演のみを予定している。賛助会員である大手製薬メーカーの造影剤部門売却のニュースは、県内分科会やランチョンセミナーにも多くの影響がある。

会報や年6回発行される福島放技ニュースは、技師会の重要な情報発信の基礎になっている。より読みやすい紙面を検討中であり、会報表紙のカラー化を継続する。

研究会開催が出来ない中、新型コロナウイルス関係の正しい情報を含めて各種情報を県ホームページに掲載を行う。

放射線に対する正しい知識の啓発活動は、昨年同様に一般公開講座、各自治体での健康まつりへの参加、ピンクリボン活動等を通じて実施していく。また、福島県原子力防災住民避難訓練等に参加すると共に、緊急被ばく医療への貢献やスクリーニング要員の育成、災害時の緊急連絡体制の整備等を進めて行く。原子力災害医療協力機関として登録が認められた事に誇りを持ち、今後も活動を継続して行く。県管理士部会とも協力関係も継続する。

また4年前より県の医療体験セミナーに参加して、医療に関心のある中学生に診療放射線技師の仕事についてブースを作り説明した。この活動は開催が決まれば今後も継続して行くつもりである。CT認定講習会も昨年度は開催を逃したが、今年度は開催を行う予定である。

今年は継続した執行部・理事のもとで、令和2年度の事業も計画通り進め、公益社団法人としての使命を果たし、放射線の正しい知識の啓発、県民の医療の向上に貢献して行く所存である。そのためには、会員の皆様のご理解、ご協力が不可欠であるので宜しく願いたい。

## 第2号議案 令和2年度事業計画 (案)

### 1. 定款に基づく事業

#### (1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業

- 1) 福島県 MRI 技術研究会の開催
- 2) 福島県 CT テクニカルセミナーの開催 今年は中止
- 3) 福島県画像技術研究会の開催
- 4) 福島県デジタル画像研究会の開催
- 5) 福島県乳腺画像研究会の開催 今年は中止 (共催事業)
- 6) 福島県消化器研究会の開催 (共催事業)
- 7) 福島県放射線治療技術研究会の開催 Web 開催も含める
- 8) 福島県診療放射線技師会学術講演会の開催 (主催事業)
- 9) 福島県臨床画像研究会の開催 今年は中止 (放射線医師会との共催事業)
- 10) 福島県放射線管理士部会セミナー・研修会の開催 (共催事業)
- 11) 福島救急撮影カンファレンスの開催 (共催事業)
- 12) 放射線機器管理士分科会研修会の開催 (日放技分科会との共催事業)  
及び機器管理士部会の創設への援助
- 13) 各地区協議会主催研究会の開催
- 14) 第10回東北放射線医療技術学術大会の準備・開催 (技術学会との共催)
- 15) 医療画像情報精度管理士セミナーの開催 中止 (日放技分科会との共催事業)
- 16) その他、診療放射線技術の向上に関する事業
- 17) 福島医科大学新学部との相互協力関係の維持

#### (2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業

- 1) 県民に対する放射線被ばくや放射線診療に関する啓もう活動の実施
- 2) 各自治体が開催する「健康まつり」への参画
- 3) ホームページによる一般向け情報の提供
- 4) 医療体験セミナーでの中学生への診療放射線技師の活動紹介
- 5) その他、診療放射線に関する正しい知識の普及啓もうに関する事業

#### (3) 診療放射線による検査技術の向上および職業倫理の高揚に関する事業

- 1) 福島県診療放射線技師学術講演会の開催
- 2) フレッシュアップセミナーの開催 (日本診療放射線技師会との共催事業)
- 3) 第10回東北放射線医療技術学術大会開催協力 (共催事業)
- 4) その他、診療放射線技師による検査技術向上及び職業倫理の高揚に関する事業

#### (4) 診療放射線技術を通じた地域医療の推進に関する事業

- 1) 福島県生活習慣病検診従事者指導講習会の開催 (福島県からの受託事業)
- 2) 各施設の X 線撮影装置の精度管理  
X線アナライザー「ピラニア」の貸し出しと精度管理
- 3) 福島県内における診療放射線技師の実態調査
- 4) 災害時緊急連絡体制の整備
- 5) 緊急被ばく医療防災事業への協力
  - ①令和2年度福島県原子力防災住民避難訓練に参加及び緊急時通信連絡訓練の参加
  - ②避難解除地域帰還者の WBC 測定結果説明への要員派遣  
(原子力安全協会からの要請支援)
  - ③福島県緊急被ばく医療活動マニュアル検討部会への参画
  - ④緊急被ばく医療講座・研修会への参加
  - ⑤避難退域時検査要員の育成と派遣

- 6) 乳がん啓発キャンペーン ピンクリボン活動への参加協力
- 7) 各市の乳がん検診読影会への参加協力
- 8) その他、診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業

#### (5) その他目的を達成するために必要な事業

- 1) 第9回(令和2年度)公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会の開催
- 2) 理事会の開催(5回)、執行部会(1回)、各委員会の開催
- 3) 福島放技ニュース(6回)の発行と電子化の検討、会報(1回)の発行
- 4) 表彰及び他団体での表彰該当者の推薦
- 5) 会員数増加を目指す勧誘活動
- 6) ホームページによる会員向け情報の発信
- 7) ホームページによる求人情報の提供
- 8) 会員メールマガジン・各委員会メーリングリストの維持管理
- 9) 年会費納入の推進
- 10) 第10回の記念誌発行の準備
- 11) その他、目的を達成するために必要な事業

以上

2019年末より新型コロナウイルスが猛威を振るい、技師会活動にも大きな影響を与えている。年間行事予定表を掲載するが、前半部分は各研究会・学会が延期や・中止が相次いでいる。県HP等での確認をお願いします。

## 令和2年度 年間行事予定表 (案)

下記行事は計画で、諸般の事情により変更する場合があります。

開催	(公社) 福島県診療放射線技師会	(公社) 福島県診療放射線技師会主催外
4月		
5月	定時総会 (紙面決裁) 第1回理事会 (Web開催)	日本放射線技術学会総会 (Web開催)
6月	福島県 MRI 技術研究会・延期 フレッシュャーズセミナー・延期	日本診療放射線技師会定期総会
7月	第2回理事会 (太田西ノ内病院) 県南サマーセミナー 県北地区夏期勉強会	
8月		医療画像情報精度管理士セミナー (郡山市)
9月	第3回理事会 (太田西ノ内病院) 浜通り地区夏期研修会	東北 CT 技術研究会
10月	福島県消化器研究会 福島県デジタル画像研究会 救急撮影カンファレンス	日本放射線技術学会秋季学術大会 (東京) ピンクリボン in 郡山 第36回日本診療放射線技師学術大会 (仙台)
11月		第1回東北会長及び教育委員合同会議 (福島) 第10回東北放射線医療技術学術大会 (福島) 福島県原子力防災訓練
12月	第4回理事会 (太田西ノ内病院) 第1回選挙管理委員会	CT 認定技師講習
令和3 年1月	福島県画像技術研究会 県南地区新年勉強会 県北地区新年勉強会	
2月	福島県生活習慣病検診従事者講習会及び 消化器研究会 福島県診療放射線技師学術講演会 総務企画委員会 浜通り地区相双画像勉強会	第2回東北会長及び教育委員合同会議
3月	第5回理事会 (医大)	

第3号議案 令和2年度予算 (案)

令和2年度 見込正味財産増減計算書

[税込] (単位:円)

令和2年4月1日～令和3年3月31日

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用収入	3000	10,000	-7,000
特定資産運用収入			
受取会費			
正会員受取会費	6,500,000	6,300,000	200,000
賛助会員受取会費	690,000	720,000	-30,000
事業収益			
出版広報事業広告収益	150,000	150,000	0
学術研修事業広告収入	600,000	500,000	100,000
啓もう普及事業収入	0	100,000	-100,000
日放技業務受託料収入	130,000		-130,000
福島県業務受託料収入	82,000		-82,000
受取補助金等			
受取福島県助成金		82,000	-82,000
受取負担金			
委託事業負担金		78,800	-78,800
受取寄付金			
受取寄付金	0	10,000	-10,000
雑収益			
受取利息	100	1,000	-900
雑収入	0	1,000	-1,000
経常収益 計	8,155,100	7,952,800	202,300
(2)経常費用			
事業費			
会議費	200,000	450,000	-250,000
旅費交通費	300,000	300,000	0
通信運搬費	750,000	400,000	350,000
減価償却費	400,000	500,000	-100,000
印刷製本費	1,300,000	1,260,000	40,000
広報費	300,000	200,000	100,000
消耗品費	100,000	200,000	-100,000
修繕費	300,000	350,000	-50,000
保険料	25,000	20,000	5,000
厚生費	20,000	70,000	-50,000
諸謝金	300,000	60,000	240,000
支払助成金	150,000	210,000	-60,000
支払負担金	10,000	98,000	-88,000
手数料	15,000	40,000	-25,000
雑 費	10,000	20,000	-10,000
事業費 計	4,180,000	4,178,000	-98,000

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費			
委託報酬手数料	340,000	510,000	-170,000
会議費	400,000	450,000	-50,000
旅費交通費	1,000,000	1,000,000	0
通信運搬費	250,000	250,000	0
什器備品費	600,000	100,000	500,000
減価償却費	200,000	500,000	-300,000
消耗品費	450,000	300,000	150,000
貸借料	96,000	100,000	-4,000
諸会費	120,000	100,000	20,000
人件費	0	40,000	-40,000
保険料	60,000	60,000	0
租税公課	1,000	5,000	-4,000
手数料	40,000	40,000	0
雑 費	20,000	20,000	0
管理費 計	3,577,000	3,475,000	102,000
経常費用 計	7,757,000	7,653,000	104,000
当期経常増減額	398,100	299,800	98,300
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
当期経常増減額	398,100	299,800	98,300
2. 経常外増減の部			
(2) 経常外収益			
経常外費用			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	398,100	299,800	98,300
一般正味財産期首残高	32,901,187	1,000,000	31,901,187
一般正味財産期末残高	33,299,287	1,299,800	31,999,487
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	33,299,287	1,299,800	31,999,487

令和2年度 収支予算内訳表

[税込] (単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用収入	3,000		3,000
特定資産運用収入			0
受取会費			0
正会員受取会費	3,250,000	3,250,000	6,500,000
賛助会員受取会費	345,000	345,000	690,000
事業収益			0
出版広報事業広告収益	150,000		150,000
学術研修事業広告収入	600,000		600,000
啓もう普及事業収入	0		0
日放技業務受託料収入	130,000		130,000
福島県業務受託料収入	82,000		82,000
受取補助金等			
受取福島県助成金	0		0
受取負担金			0
委託事業負担金	0		0
受取寄付金			0
受取寄付金	0		0
雑収益			0
受取利息	100		100
雑収入	0		0
経常収益 計	4,560,100	3,595,000	8,155,100
(2)経常費用			
事業費			
会議費	200,000		200,000
旅費交通費	300,000		300,000
通信運搬費	750,000		750,000
減価償却費	400,000		400,000
印刷製本費	1,300,000		1,300,000
広報費	300,000		300,000
消耗品費	100,000		100,000
修繕費	300,000		300,000
保険料	25,000		25,000
厚生費	20,000		20,000
諸謝金	300,000		300,000
支払助成金	150,000		150,000
支払負担金	10,000		10,000
手数料	15,000		15,000
雑 費	10,000		10,000
事業費 計	4,180,000	0	4,180,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
管理費			
委託報酬手数料		340,000	340,000
会議費		400,000	400,000
旅費交通費		1,000,000	1,000,000
通信運搬費		250,000	250,000
什器備品費		600,000	600,000
減価償却費		200,000	200,000
消耗品費		450,000	450,000
貸借料		96,000	96,000
諸会費		120,000	120,000
人件費		0	0
保険料		60,000	60,000
租税公課		1,000	1,000
手数料		40,000	40,000
雑費		20,000	20,000
管理費 計	0	3,577,000	3,577,000
経常費用 計	4,180,000	3,577,000	7,757,000
当期経常増減額	380,100	18,000	398,100
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
当期経常増減額	380,100	18,000	398,100
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
経常外費用 計			
当期経常外増減額	380,100	18,000	398,100
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	380,100	18,000	398,100



## 第4号議案 規程追加 (案)

以下の災害支援規程を追加する。

### 災害支援規程 (案)

令和2年5月30日制定

#### (目的)

第1条 この規程は、日本国内において自然災害並びに放射線関連災害（原子力災害を含む）が発生した際、公益社団法人福島県診療放射線技師会（以下、県技師会という）が実施すべき支援内容について定める。

2 前項の災害に県技師会会員が被災した場合の支援内容についても定める。

#### (支援を行う条件)

第2条 災害が発生した都道府県並びに都道府県診療放射線技師会等により、各号に定めるいずれかの支援要請を受けた場合、県技師会は理事会の決定により必要な支援を行うことができる。

- (1) 災害支援に係る金銭的支援の依頼があった場合
- (2) 自然災害や放射線関連災害が発生した場合
- (3) その他、公益社団法人の立場から災害支援が必要と判断された場合

#### (支援内容)

第3条 前条の条件を満たす場合、各号に定める支援を行うことができる。

- (1) 金銭的支援：支援金及び義援金等
- (2) 人的支援：放射線サーベイヤー等の派遣
- (3) その他、理事会において必要と認めた支援

#### (金銭的支援)

第4条 金銭的支援については、第2条に対して理事会で決議して支援を行うこととする。

- (1) 会長や理事が支援について提案して理事会で承認を得る。
- (2) 災害の性質上、予算計上が出来ないため、当該年度予算内において、支障がない範囲で支援する。
- (3) 支援金の上限は10万円とする。

#### (人的支援)

第5条 県外へサーベイチーム等を派遣する場合、福島県や公益社団法人日本診療放射線技師会の支援状況を鑑みて理事会で決定する。

- 2 理事会の決定後、速やかにサーベイチーム等を編成し派遣する。
- 3 サーベイチーム等の旅費及び宿泊費については、理事会決定とする。
- 4 旅行保険のような簡易的保険を、派遣者にかけて補償する。

#### 附則

- 1 この規程は、令和2年5月30日より施行する。
- 2 この規程は、理事会の承認を得なければ変更できない。

## 第5号議案 会員除名

下記のもの、第9回（令和2年度）公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会で議決により除名処分とする。

県南地区 林 裕人 氏（医療法人社団ときわ会 日東病院）

平成29年度、平成30年度、平成31年度（令和元年度）会費未納  
再三にわたる催促及び弁明の機会付与を行ったが無回答